

第2回GFVC官民推進協議会 講演資料

サウジアラビアからの招へい事業結果報告

2019年12月9日

みずほ銀行 国際戦略情報部



本調査分析委託事業について

■ 本調査分析委託事業の仕様抜粋は以下の通り

背景・目的

農林水産省では、農業生産から製造・加工、流通、消費に至るフードバリューチェーンの構築を各国と協力して進めていくための指針として取り纏めたグローバル・フードバリューチェーン戦略に基づき、日本の食産業の海外展開を促進するための取組みを進めているところである。

サウジアラビアについては、平成29年3月にサウジアラビア国王が来日し、新たな戦略的パートナーシップの羅針盤として「日・サウジ・ビジョン2030」が両国間で合意された。同ビジョンにおいては、農業・食料分野が重点分野の一つに含まれており、当該分野における日本企業の進出への期待が高まっている。しかしながら、サウジアラビアは中東地域において市場としての潜在力は大きいが、日本企業が企業活動を行う上での情報不足が課題となっていた。

このような中、平成29~30年度に農林水産省委託事業「海外農業・貿易投資環境分析委託事業」により、サウジアラビアにおける農業・食品分野の現況調査を実施し、同分野における日本企業の進出についての課題・可能性について調査した。その結果、外食及び食品関連分野の進出が有望分野の1つであることが特定された。

上記事業結果を踏まえ、今後は外食・食品関連企業の進出に向けた取組を支援していくこととしているが、日本食及び日本産食品の同国における認知度が高くないことが課題となっている。

このような背景の中、本委託事業では、同国において日本食及び日本産食品の認知度向上やこれらに対する関心を高めるための効果的な手段を特定するための調査を実施し、この結果を我が国外食・食品関連企業の進出の機会拡大に活用することを目的とする。また、外食関連企業の進出が活性化されることで、日本産食材・食品の調達も促されることから、これら一連の取組により、サウジアラビアにおける日本の外食・食品関連企業が関与した形でのフードバリューチェーンの構築を目指す。

事業要件抜粋

- (1) 日本食及び日本産食品の認知度向上に向けた調査
 - ア 招聘日程の調整、招聘者の選定と調整

招聘回数は事業実施期間中1回とする

招聘者は最低でも3名以上とし、インフルエンサー、外食・食品分野のパートナー候補企業、政府関係者の幅広い分野から選定、インフルエンサーは必ず1名加えることとする

イ 視察先の選定と調整

サウジアラビアで普及の可能性がある日本食、日本産食品及びその関連企業(外食産業等)を視察先として選定。視察を調整すること。 尚、選定にあたっては招聘者が情報発信をする際に見栄えがよいものとなるように留意のこと

ウオ 招聘者を通じた調査報告

招聘者を対象に招聘前と招聘後で日本食及び日本産食品への認知度がどのように変化したか、招聘中又は招聘後のサウジアラビア国内への情報発信の有無・方法(インフルエンサー等による日本食・日本産食品に関するSNSへの投稿など)、具体的なビジネス形成の動き等を調査し、取りまとめ、招聘事業の概要とあわせて報告書を作成、期限までに担当部署に提出することとする

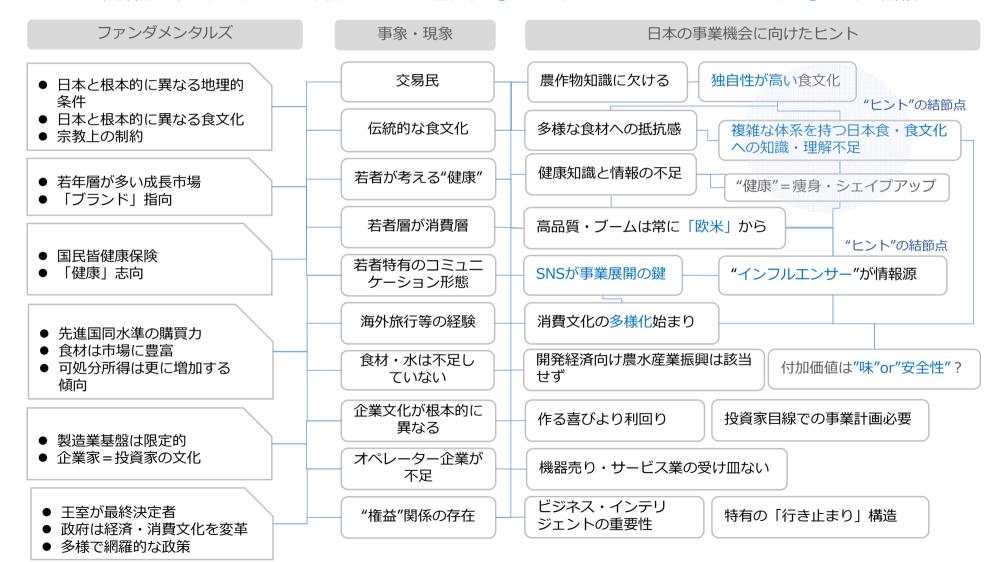
(2) セミナーやマッチングイベント等の開催

招聘期間中に、日本食、日本産食品、日本産食材、日本企業の有する農業関連技術等についてのセミナーやサウジアラビアへの進出に関心が高い日本企業関係者を選定した上で、マッチングイベント等を開催する(視察先での開催も可)。これに関するあらゆる手配を行うこと



本調査分析委託事業の前提としての「平成30年度調査分析委託事業」調査結果(抜粋)

- 平成30年度調査分析委託事業では5分野(植物工場・水産養殖・健康食品・外食・日本産牛肉)を調査
- サウジアラビア市場について以下の「ファンダメンタルズ」「事象・現象」「日本の事業機会に向けたヒント」につき仮説を構築
- 日本食文化・日本産食品の認知度が低いことを前提に、これを「向上」させる取組が必要と結論付けた
- ヒントの結節点=キーワードは「日本食への知識・理解不足」の解消と、「SNS・インフルエンサー」活用の有効性





ご参考:サウジアラビア市場の独特な嗜好性



図表説明

- 調査会社レポート抜粋。精緻な分析ではないが、 24カ国において34カ国の料理に対する評価をマッ ピングしたもの
- 各国料理に対する評価が高い順番で記載されており、 24カ国における評価スコア平均は右端に表示
- 各国料理に対する平均評価スコアは下端に表示。こ の評価が高い国(表中左端にある国)ほど、他国の 料理全般に対する許容性が高いといえ、評価が低い 国(表中右端にある国)では他国の料理全般への許 容性が低い国と考えられる(但し、前提として各国 の料理と食文化が同水準と仮定した場合の評価
- サウジアラビアでは、統計対象国中では上位に位置 価である一方、他国では評価の低い「レバノン料 「エミレーツ(≒アラブ)料理Ⅰが高評価と他 国とは間逆の結果
- また、他国料理に対する平均評価点が18/24位と低 順位。サウジアラビアで評価の高い「レバノン料 理」や「エミレーツ料理」は、「サウジアラビア料 理1と文化的に近い料理といえ、サウジアラビアの 外食市場における保守性が確認できる

出所:YouGov記事より抜粋

外国の料理に対する許容度が高い国

本調査分析委託事業コンセプトについて

- 本委託事業では、「日本食への知識・理解不足」の解消と、「SNS・インフルエンサー」活用を実現することを目的とする
- 従来型の「日本市場発海外市場への働きかけ(視察)」ではなく、サウジアラビアの「政府関係者」 「インフルエンサー」を日本に 招聘、「日本市場・日本食/文化・日本企業とのディスカッション」体験を提供する調査を実現
- 特に「インフルエンサー」は、視察や体験内容をアラビア語環境で画像とともにフォロワー(サウジアラビア消費者)に発信

<前年度までの調査実績>

■ サウジアラビア消費者から見て、提供側からの加工された情報ではなく、消費者目線に立った情報の獲得、自国語や画像による直感 的な情報内容の把握と情報の消化が行える環境を提供する

本委託業務イメージ図

本調査(令和元年)イメージ インフルエンサー・政府関係者を招聘 インフルエンサーを選抜・政府関係者を召集 日本市場視察・日本食/文化体験・BM 適切な人材を選抜 サウジアラビア市場 日本市場 相手国担当省广 貴省(業務委託者) 成果 インフルエンサー: 外食 食 視察や体験内容をアラブ語 外食 食 品 外食 食 環境のSNSで画像と共にサ 品 外食 食 関連 消費者 品 関連 ウジの消費者に発信 品 企業 • 関連 消費者 生産者 関連 政府関係者: 従事者 企業 • 牛産者 日本食・食品のサウジアラ 従事者 ビア展開検討 令和元年調查対象 体験・視察・企業訪問企画による動機付け



サウジアラビア市場の調査・日本からの官民デリゲーション派遣

本調査分析委託事業の構成要素について

- 本委託事業の「招聘者」「実施計画(企画)」「評価設定」は、相互に関係しあうことから構成要素設定の難易度は高い
- 各項目固有の「本質的な課題」と「技術的な制約」との兼ね合いもあり、実現可能で最も効果的となる組み合わせの抽出が必要

構成要素間の相関性

可変要素:

- 招聘者属性により"適切"な実施計画に差異
- いかなる企画が、招聘者(及びフォロワー) から"高評価"を得るのか経験値無し
- 企画(視察・体験・BM)の最適な割合も不明。

"適切"な招聘者の設定

招聘者設定上の課題

- どのような招聘者が適切か?
- だれを招聘できるのか?

可変要素:

- 招聘者属性によりアウトプット形態に差異
- 招聘者次第で成果実現までのタイムスパンが異なる: フォロワーによる評価(インフルエンサー)〈商売の実現(事業者)〈政府間枠組みの改善など(政府関係者)

"適切"な市場視察・体験実施 計画の設定

視察・体験設定上の課題

- どのような実施計画が適切か?
- どのような企画を準備可能か?

可変要素:

- 幅広い業種を対象とする企画の場合、 インプットは"広く浅く"となる
- 協力日本企業数の取組姿勢や数に限界

"適切"な評価と成果確認方法 の設定

評価・成果確認上の課題

- どのような評価方法が適切か?
- どのように成果が確認可能か?

本調查分析委託事業実施方針

■ 本委託事業では、広く日本食文化・食産品をサウジ市場へ発信し、将来に向け政府機関間の協力関係構築を目指した実行計画を策定

"適切"な招聘者の設定

政府関係者:本事業のサウジ側対面であるMEWA・SFDA

インフルエンサー:日本産食材のプラットフォームとなりうる外食系インフルエンサー選抜

"適切"な市場視察・体験実施計画の設定

政府関係者:政府間面談の設定(霞ヶ関、追加視察先である北海道)

インフルエンサー:日本食・食文化体験、視察、企業訪問設定

"適切"な評価と成果確認方法の設定

本事業を契機に、発信された情報内容、フォロー反応を確認・評価



招聘者について

■ 本委託事業実施方針に基づき、農林水産省の協力を仰ぎ以下サウジアラビア人5名を招聘した

招聘者案一覧

1	Influencer (chair man of Saudi Chef association)	Mr. Yasser Jad
2	Influencer (Owner Chef of Restaurant "Oishii Sushi")	Mrs. Khulood Olaqi
3	Director General, Health and Fisheries Services Department, MEWA	Mr. Faris bin Mohammed Al-Ghamdi
4	Director, Health Food Department, SFDA	Mr. Faisal bin Fahd Sunaid
5	Vice President, Arar Chamber of Commerce and Industry	Mr. Abdulaziz Suleman

インフルエンサー紹介

Yasser Jad氏

- 活動媒体: facebook/Instagram
- 主要コンテンツ:料理、ブログ
- サウジアラビア調理師協会会長
- サウジアラビア人気番組「TOP CHEF」の審査員
- サウジアラビア航空機内食監修

Khulood Olaqi氏

- 活動媒体: Instagram/Snapchat
- 主要コンテンツ:料理日本食レストランオーナーシェフ
- リヤドで活躍する女性シェフとしてノミネート







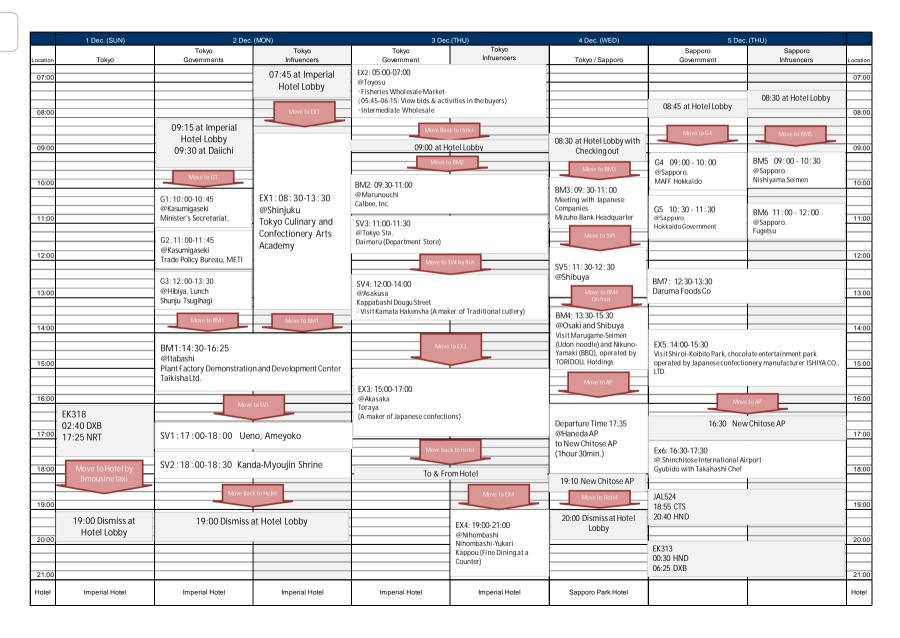


出所:各人作成HPよりみずほ銀行国際戦略情報部作成

実施計画

- 必要に応じ、政府関係者招待団とインフルエンサーを2手に分ける実施計画を策定
- ①「政府機関との面談」、②「日本食・文化体験」、③「企業訪問ビジネスマッチング」、④「市場視察」、⑤「企業ミーティング 開催」を実施

行程一覧





実施計画内訳

■ 本委託事業に参加、協力いただいた日本企業数は合計17社(企画②5社、企画③7社、企画④1社、企画⑤4社)

実施計画内訳

①「政府機関との面談」

Ref	実施企画名	対象
G1	農林水産省	政府関係者
G2	経済産業省	政府関係者
G4	北海道農政事務所	政府関係者
G5	北海道庁・フード特区機構	政府関係者

②「日本食·文化体験」

Ref	実施企画名	対象
Ex1	東京調理製菓専門学校における日本食調理体験	インフルエンサー
Ex2	豊洲市場視察	全招聘者
Ex3	虎屋本店での和菓子体験	全招聘者
Ex4	日本橋"ゆかり"日本料理体験	インフルエンサー
Ex5	石屋製菓 製菓体験	全招聘者
Ex6	牛美道・ハラル和牛体験	全招聘者

③「企業訪問・ビジネスマッチング」

Ref	実施企画名	対象
BM 1	大気社 "植物工場実証施設"見学	全招聘者
BM2	カルビー "カルビープラス"見学	全招聘者
BM4	トリドール "丸亀製麺・肉のヤマキの店舗見学"	全招聘者
BM5	西山製麺 "製麺工場見学"	インフルエンサー
ВМ6	お好み焼き風月 "店舗見学"	インフルエンサー
ВМ7	だるま食品 "弁当工場見学"	全招聘者

④「市場視察」

Ref	実施企画名	対象
SV1	アメ横視察	全招聘者
SV2	神田明神視察	全招聘者
SV3	"デパ地下"視察・東京駅大丸	全招聘者
SV4	カマタ刀研社訪問・合羽橋商店街視察	全招聘者
SV5	渋谷市街地視察	全招聘者

⑤「企業ミーティング開催」

- 開催日時:12月4日 9:00~11:30
- 会場:みずほ銀行大手町本店 29階大会議室4
- 講演内容
 - 農林水産省より開会挨拶(5分)
 - MEWA·SFDAより講演(各15分)
 - Arar商工会議所・インフルエンサーより視察所見(各5分)
 - 日本企業4社より会社・商品紹介(各10分)

Ref	企業ミーティング参加企業	対象
ВМ3	参加企業1:出光商事	全招聘者
ВМ3	参加企業2:ポッカ・サッポロホールディングス	全招聘者
ВМ3	参加企業3:尾西食品	全招聘者
ВМ3	参加企業4:TBM	全招聘者



成果確認:フォローアップ体制イメージ

■ アウトプットの捕捉が比較的困難なインフルエンサーについては、下記手順、体制により万全の捕捉・評価・分析を行う

インフルエンサー関連調査体制イメージ

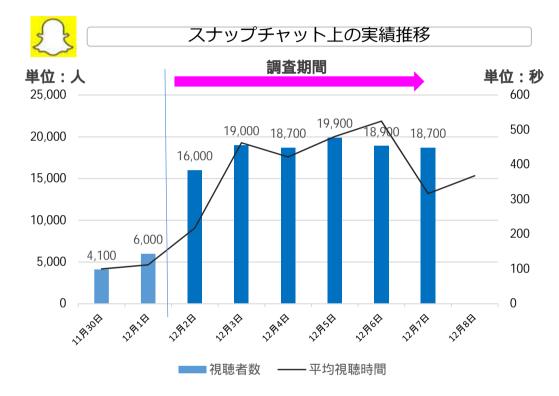


出所:画像は公開情報よりみずほ銀行国際戦略情報部作成



成果確認:評価(速報)

- 情報発信期間は12月12日までを予定
- 下記の数値は、成果の一部であり速報値





インスタグラムトの実績推移

- 調査期間中(12月2日~5日まで)両インフルエンサーとも、10件/日を大きく上回る記事を投稿
- 投稿形式はストーリーと一般投稿が半々、動画多数
- 各ストーリの視聴者数は6,000~12,000人
- 視聴者数は時間経過とともに増加
- 視聴者の1割程度が「高評価」



『全てを投げ捨てて、日本に行きたい!』

『以前は日本に行くことを躊躇していたけど、今回の動画を観て、来年の夏に行ってみたくなりました!』

『私はマディーナのインターコンチネンタルホテルで働くサウジ人シェフです!あなたのことをとても 誇りに思います!』

『最高に楽しい動画ですね!朝起きて、仕事から帰って来たら、ずっとあなたの動画観てますよ!あなたをとても誇りに思います!』

『私の息子は日本の気候と景色が気に入ったようですけど、彼のお嫁さんは日本の混雑さが嫌いみたいです。何れにしてもあなたの動画を観て、私も日本に旅行した気分を味わえます!』

『和包丁のアップデートが参考になりました』

『緑の陶器すごく素敵!こっちの陶器屋に行って、どうして同じものがないのか文句言ってくる!』 『友達と一緒にみています!』

『エビ以外の魚介類は苦手だけど、市場の動画はすごく興味深いです!』

『今まで生で魚を食べることは考えてもいなかったけど、今回の動画を観て挑戦したくなった!』 『本場のラーメンをサウジに輸出できますか?本場のラーメンはハラールではないと聞きました』 『日本の文化がとても好きです!あなたが今日本で体験しているようなことが体験したいです!』



今後に向けた課題・提言・具体策

■ 成果の十分な把握・精査前の段階ではあるが、「今後に向けた課題」「提言」を示す

今後に向けた課題

日本側課題

- サウジ市場に興味がある事業者の発掘。農産品・加工食品に独自性がある地方市場は"ブラックボックス"
- 即時提供可能な商材の裾野が狭い(≠ハラル認証)SFDA手続きの非効率性指摘多数
- 日本食・日本食材の海外市場振興に着意を持つ外食経営者は多数

サウジ側課題

- 日本食・食品への興味喚起(大手小売業者・FC経営者より個性を売りにする小規模小売業者が興味をもつ傾向)
- 日本食輸入ルートの開拓・多様化(現状Gulf West社/Arabian Food社など数社で取扱い)
- 新規商材輸入に際し発生するSFDA手続きの非効率性指摘多数

調査事業に起 因する課題

- 適切なインフルエンサー発掘は難しい
- 招聘者の属性により視察内容の興味が大きく異なる
- 日本食文化・食品の紹介と体験機会の提供は時間のかかる長期的な取組み
- サウジ多数派が考える高品質・ハイファッションは欧米発商材だが、コンテンツとしての日本食文化には興味を持つ層が一定量存在
- サウジ人招聘時の不便を感じる環境(ハラルレストラン≠日本食・日本食材の体験機会)

提言及び具体策

● サウジアラビアのインフルエンサー継続利用 提言 1 具体策 ● 日本食文化の宣伝イベント 日本/サウジの両市場における相互の興味喚起が必要 ● 料理メディアコンテンツのアラブ語展開 ● 日本企業コンソーシアム開拓 ● 地方企業の開拓 提言2 具体策 日本/サウジの両市場における興味がある事業者の開拓 ● 提言1イベントを契機とするサウジ企業開拓 ● サウジ政府機関による地場企業開拓支援 SFDA手続きの効率性改善 ● 二国間政策対話等を通じて規制の透明化と手続きの 提言3 具体策 (日本/サウジ双方の事業者から指摘あり) 簡素化を推進



Disclaimer

© 2019 株式会社みずほ銀行

本資料は金融ソリューションに関する情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の取引の勧誘・取次ぎ等を強制するものではありません。また、本資料はみずほフィナンシャルグループ各社との取引を前提とするものではありません。

本資料は、当行が信頼に足り且つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、貴社ご自身の判断にてなされますよう、また必要な場合は、弁護士、会計士、税理士等にご相談のうえお取扱い下さいますようお願い申し上げます。

本資料の著作権は当行に属し、本資料の一部または全部を、 複写、写真複写、あるいはその他の如何なる手段において 複製すること、 当行の書面による許可なくして再配布することを禁じます。

